

(右) 公民館では、ツル多はげます会の「第1回吸盤綱引き全国大会」が開催されました。

大会には、はげます会創設者の竹浪正造さんのほか、茨城県や富山県など県内外から32人が参加しました。また、特別ゲストとしてタレントのモト冬樹さんが参戦。決勝では、初出場ながら勝ち進んでいったモトさんと同会幹事長の成田晃生さんが対戦し、熱戦の末、成田さんが優勝、モトさんが準優勝に輝きました。



(左) 文化祭のテーマを考えた鶴田小学校3年の三浦大門くんには町長から表彰状が贈られました。



(上) 5つのスタンプを集めるとつるりんグッズが当たるスタンプラリーは子どもたちに大人気



△地産地消食まつりでは、スチューベンの棒パン焼き体験も行われました。



△富士見小学校では、秋に収穫したお米を地区の伝統芸能にちなんで、「獅子米」として販売しました。



(左) 会場には町民の皆さんによる作品が展示され、来場者の目を楽しませていました。

第34回町民文化祭・いのちのまつり



(左) 3歳児歯科健診でむし歯が1本もない子どもを表彰する「むし歯ゼロ表彰式」。今年は45人の幼児が対象となりました。

(右) スイーツの試食会には家族連れもたくさん来ていました。中にはお父さんに食べさせてもらうほほましい子どもの姿も



(左) いのちのまつりでは、健康づくりに関するさまざまなコーナーが設けられました。つるた調剤薬局の「健康・お薬」相談会では、薬剤師体験コーナーが設けられ、子どもたちが薬の調合を体験



△北五歯科医師会の歯の健康診断室。歯科健診やブラッシングの指導などが行われました。

最後の文化祭コンサートに涙

華麗な歌声で約40年間、町の行事やイベントを盛り上げたクレインコーラス(笠原圭子代表)が今年度で活動を終えることとなり、11月15日(日)、公民館でさよならコンサートを行いました。

同コーラスは設立当初、「鶴田ママさんコーラス」として活動をスタート。その後、町名の鶴にちなんで「クレインコーラス」と名称を変え、これまで町内外のさまざまな場で歌声を披露してきました。

コンサート当日は、「青い山脈」や「荒城の月」など計9曲を披露し、訪れた多くの観客がその歌声に聞き入っていました。また、これまでの活動を労い、メンバー一人ひとりに花束が手渡されると、これまでの思い出が込み上げてきたかのように涙を流していました。



△メンバー全員で最後のコンサート



クレインコーラス代表

笠原 圭子 さん

設立当初から歌い続けてきたので、クレインコーラスへの想いはあふれるほどたくさんあります。

これまで無我夢中で一生懸命歌ってきました。歌は私の生きてきた証です。指導してくれた先生、共に活動してきたメンバー、応援してくれた皆さんのおかげで活動を続けていくことができました。町民の皆さんの前で歌ってこられたことは本当に貴重な経験です。

私たちの歌声が次の世代に受け継がれていくことを願っています。